

公益社団法人日本ホッケー協会
令和 6 年度(2024 年度) 事業報告

本協会は、我が国におけるホッケー界を統轄し、代表する団体として、ホッケー競技の普及及び振興に関する事業を行い、人々の心身の健全な発展と豊かな社会の創造に寄与することを目的としており、令和 6 年度も目的に沿った事業の運営を行った。

1. ホッケー競技の普及、指導者の育成に関する事業

本協会では、児童・生徒から一般競技者、愛好者に至るまで、広くホッケー競技に触れる機会を提供し、ホッケー競技というスポーツを通じて運動能力、体力向上に貢献する事業を行った。また、ホッケー競技を普及するために不可欠な指導者の育成も行った。

(1) 夢見るホッケー教室

ホッケー競技の普及と競技力向上をめざし、オリンピックや現役/元日本代表選手によりホッケーの楽しさと魅力を伝えるとともに、あらゆる人々がスポーツを楽しめる機会を提供する事業。普段はホッケー競技に馴染みのない方々にもホッケーの迫力を直接肌で感じ、選手と触れ合い、スポーツの魅力を伝えることを目的としている。財源は、受取補助金等((独)日本スポーツ振興センター)および受取寄付金等に拠る。

(令和6年度実績)

「夢見るホッケー教室」(全9回開催)

開催日程:6月29日～11月30日

開催場所:ルネサンス棚倉多目的広場(福島県)他

各回の実施報告はホームページに掲載している。

(2) U-12 ブロック選考会 / U-12 ドリームキャンプ / U-12 オールスター戦

1) U-12 ブロック選考会

350 名以上の小学生世代のプレーヤーが参加し、ブロック地区で選考会および各地区の社会人チーム選手のホッケークリニックやブロック単独合宿を開催する等、地域間交流の場として実施した。

(令和6年度実績)

8 月 31 日～9 月 28 日 全国 7 地区にて開催

2) U-12 ドリームキャンプ

U-12 ブロック選考会で選出された、男女合わせて 120 名の選手が全国から一堂に会し、ホッケー

ースキルの向上だけでなく、さくらジャパンの選手にパリオリンピックの様子を聞くなどの研修も開催し、小学生世代の心身の育成も図る目的で開催した。

(令和6年度実績)

11月30日～12月1日 グリーンランドみずほ(京都府)

3)U-12 オールスター戦

東京オリンピックが行われた大井ホッケー競技場で紅白戦を開催。U-12 ドリームキャンプから男女各30名の選手がU-12 日本代表として選出され参加。開催期間中、JADA(日本アンチ・ドーピング機構)との連携による保護者・指導者向けのアンチ・ドーピング講習や、選手向けのスポーツ栄養学の研修も開催した。

(令和6年度実績)

3月1日～2日 大井ホッケー競技場メインピッチ(東京都)

(3)指導者講習会

ホッケー競技の裾野を広げるためには、普及活動に加えて指導者の育成が極めて重要と認識している。本年度も指導者の充実に向けて指導者講習会を実施した。

1)(公財)日本スポーツ協会 公認スポーツ指導者育成

(公財)日本スポーツ協会からの受託事業として指導者講習会を実施した。令和6年度はコーチ3・4の専門科目講習会を同会場・同日で実施。また、カリキュラムの見直し、アクティブラーニングの導入促進、オンラインと対面の併用実施による参加者の負荷低減といった改善に取り組んだ。

(令和6年度実績)

前期講習会:7月(愛知県名古屋市) 後期講習会:2月(オンライン+埼玉県飯能市)

2)指導教本作成

各年代の発育段階に応じた適切な指導方法を普及させるため、小学生、中学生、高校生の各指導者に向けた教本を作成している。(単価2,000円)

財源は、販売収入(教本等)に拠る。

(令和6年度実績)

販売部数 20部

3)その他講習会等

①ACD キャンプ

コーチが資格取得後も学習し続け、コーチ同士のネットワークづくりの場として隔月でオンラインカンファレンスを実施。日本代表チームのコーチングスタッフが講師として、代表チーム

の戦術を共有したり、パリ五輪のスタッツ分析、GK へのコーチングの実例など、ホッケーコーチの関心が高いテーマを中心に、4月～1月まで各月で計6回開催し、延べ約300人が参加した。

②海外優秀指導者招聘事業

国内の GK コーチ養成・レベルアップを目的として、パリ 2024 大会で男女金メダルを獲得したオランダ代表の GK コーチを招聘し、世界トップクラスのコーチングセミナーを8月27日～30日(滋賀県米原市)に開催した。

③FIHコーチングアカデミー

国際ホッケー連盟(FIH)公認コーチ資格取得講習会を国内で初めて開催。FIH Educator 2 名をオランダ、ベルギーから招聘し、FIH Academy レベル 2 およびコーチディベロッパーの講習会を12月9日～14日(岐阜県各務原市)に実施した。

(4)公式ホッケータウンの認定

令和5年度に、当協会の創立100周年を機に、これまでホッケー競技を支えていただいた、そして今後も共にホッケーを普及振興していただける市区町村と連携し、ホッケーの普及とホッケーを通じた地域の活性化を共に行い、相互のさらなる発展を目指す事を目的として「公式ホッケータウン認定制度」を開始した。令和6年度も第2期として応募があった6つの自治体が公式ホッケータウンに認定された。2月には第1期・2期の25自治体にお声がけをし、オンラインを含め一堂に会した「ホッケータウンプレサミット」を実施した。

(令和6年度実績)

第2期公式ホッケータウン認定自治体 6市区町(北海道江別市、群馬県みなかみ町、長野県駒ヶ根市、広島市安佐北区、愛媛県松前町、鹿児島県薩摩川内市)

2. ホッケー競技の競技力の向上に関する事業、並びにホッケー競技の国際競技大会等に対する代表参加者の選定及び派遣に関する事業

国内におけるホッケー競技の競技力向上を図り、日本代表としてオリンピックをはじめとする国際競技大会に参加する選手を選定し派遣した。

(1)選手強化

1)強化合宿、海外遠征

競技力向上事業の一環として、日本代表候補選手の強化合宿、アンダーカテゴリー世代の競技者を対象とした合宿が主なものである。各種合宿は、ナショナルトレーニングセンター競技

別強化拠点や全国のホッケー競技場に加えて、国立スポーツ科学センターでの測定・科学的データを用いた技術向上を目的とするものや、海外経験の蓄積・国際競技力向上を目的とした海外合宿といったように目的に応じて多様な場所で開催した。

財源は、受取負担金(個人負担金)、受取寄付金、受取補助金等((公財)日本オリンピック委員会)の選手強化NF事業補助金、((独)日本スポーツ振興センター)等に拠る。

(令和6年度実績)

男女全カテゴリー(シニア/U21/U18/U15)において代表選考会および強化合宿、海外遠征を実施した。選手強化NF事業補助金・スポーツ振興(じ)助成を受けた事業として、ホームページに掲載している。

(2) 国際競技大会への代表参加者選定及び派遣

国際競技大会に対し、事前に設けた選考基準に則り日本代表選手を選考し派遣した。

財源は、受取負担金(個人負担金(スタッフ・選手)、受取寄付金、受取補助金等((公財)日本オリンピック委員会)の選手強化NF事業補助金、((独)日本スポーツ振興センター)のスポーツ振興(じ)助成に拠る。

(令和6年度実績)

《派遣された大会(サムライジャパン(シニア男子日本代表))》

- ・第30回スルタンアズランシャーカップ(マレーシア) 優勝
- ・第8回アジアチャンピオンズトロフィー(中華人民共和国) 5位

《派遣された大会(さくらジャパン(シニア女子日本代表))》

- ・第33回オリンピック競技大会(フランス) 10位
- ・第8回アジアチャンピオンズトロフィー(インド) 3位

《派遣された大会(U21男子日本代表)》

- ・第12回スルタンジョホールバルカップ(マレーシア) 5位
- ・第10回AHF男子ジュニアアジアカップ(オマーン) 3位

《派遣された大会(U21女子日本代表)》

- ・第9回AHF女子ジュニアアジアカップ(オマーン) 4位

(3) 医科学サポート

1) 科学サポート

国際競技大会や国内主要競技大会、各種強化合宿において、競技者の体力や技術に関する測定、それらを収集したデータの解析、研究結果の指導現場へのフィードバック等を

中心に、客観的データやバイオメカニクス研究を中心とする科学的サポートを実施した。

財源は、受取寄付金および受取補助金等((公財)日本オリンピック委員会)の選手強化NF事業補助金)に拠る。

(令和6年度実績)

主にナショナルチーム(サムライジャパン・さくらジャパン)の強化合宿等において、ウェアラブルGPSトラッカーやコンディション管理アプリ、スポーツ

映像分析ツールを導入し、科学的な面から競技者に対してサポートを実施した。

2)医学サポート

国際競技大会や国内主要競技大会、各種強化合宿において、ドクターやトレーナーを派遣し、選手のコンディションや疾患、障害の予防や治療、栄養サポート等の啓蒙を行った。

財源は、受取寄付金に拠る。

(令和6年度実績)

選手強化NF事業及び国内主要競技大会、各種ホッケー普及イベントにおいて、ドクターや看護師、トレーナーや栄養管理士を派遣し、医学的な面からも競技者に対してサポートを実施した。

3)ドーピング防止活動

ドーピング検査「治療目的使用に係る除外対象措置(TUE)」申請の指導や、内容確認の他、日本代表候補選手及び指導者に対する講習会の実施、情報提供のため(公財)日本アンチ・ドーピング機構発行の教材を与え、啓発活動を行った。また、(公財)日本アンチ・ドーピング機構や国際ホッケー連盟(FIH)に居場所情報を報告した。

財源は、受取補助金等((公財)日本スポーツ協会、(独)日本スポーツ振興センターの)助成金に拠る。

(令和6年度実績)

・さくらジャパンに対しては、パリ五輪出場直前合宿において対面教育を実施した。

・U21女子/U18女子強化合宿及びU12オールスター戦、また全日本学生ホッケー選手権大会及び全国統一ルール研修会において、教材を用いながら研修会を実施した。

3. ホッケー競技の国際競技大会、国内競技大会の開催に関する事業

(1)ホッケー競技に関する国際競技大会及び国内競技大会の開催

国内競技大会は、日本選手権大会をはじめとする全国大会を17大会開催した。国際競技大会は、さくらジャパンのパリ五輪壮行イベントを実施した。

財源は、受取参加料、受取補助金等(開催地自治体、(独)日本スポーツ振興センター等)、受取協賛金に拠る

(令和6年度実績)

《国際競技大会》

令和6年 能登半島地震 被災地支援 さくらジャパン 壮行試合 SOMPO JAPAN CUP

開催日程:6月30日

開催場所:大井ホッケー競技場メインピッチ(東京都品川区)

《国内競技大会》

「第1回 社会人女子プレミアムカップホッケー」

開催日程:5月4日～9月29日

開催場所:川崎重エホッケースタジアム(岐阜県)

大井ホッケー競技場(メインピッチ・サブピッチ)(東京都)

コカ・コーラ レッド スパークスホッケースタジアム(広島県)

「第43回全日本大学ホッケー王座決定戦・東西交流戦」

開催日程:6月27日～30日

開催場所:川崎重エホッケースタジアム(岐阜県)

「男子第87回・女子第66回全国高等学校ホッケー選手権大会」

開催日程:7月27日～31日

開催場所:川棚大崎自然公園交流広場／佐世保市総合グラウンド陸上競技場
／佐世保青少年の天地プレイランド(長崎県)

「第54回全日本中学生ホッケー選手権大会」

開催日程:8月17日～8月19日

開催場所:小矢部ホッケーフィールド by 三井アウトレットパーク 他(富山県)

「第22回全日本マスターズホッケー大会」

開催日程:9月14日～16日

開催場所:道立野幌総合運動公園人工芝ホッケー場(北海道)

「第47回全国スポーツ少年団ホッケー交流大会」

開催日程:9月14日～16日

開催場所:大井ホッケー競技場(メインピッチ・サブピッチ)(東京都)

「男子第66回・女子第46回全日本社会人ホッケー選手権大会」

開催日程:9月21日～25日

開催場所:OSPホッケースタジアム、米原市伊吹第1グラウンド(滋賀県)

「第78回国民スポーツ大会ホッケー競技」

開催日程:10月5日～9日

開催場所:伊万里市国見台球技場／伊万里ホッケーフィールド(佐賀県)

「第73回男子・第46回女子全日本学生ホッケー選手権大会」

開催日程:10月31日～11月4日

開催場所:大井ホッケー競技場(メインピッチ・サブピッチ)(東京都)
「第25回全日本中学生都道府県対抗11人制ホッケー選手権大会」
開催日程:11月9日～10日
開催場所:福井県立ホッケー場／越前町営朝日総合運動場(福井県)
「第85回全日本女子ホッケー選手権大会」
開催日程:11月29日～12月1日
開催場所:赤磐市熊山運動公園多目的広場ホッケー場(岡山県)
「第5回マスタースホッケー JAPAN CUP」
開催日程:11月30日～12月1日
開催場所:大井ホッケー競技場(メインピッチ・サブピッチ)(東京都)
「第56回全国高等学校選抜ホッケー大会」supported by 損保ジャパン
開催日程:12月21日～25日
開催場所:川崎重エホッケースタジアム／岐阜各務野高等学校ホッケー場(岐阜県)
「第98回全日本男子ホッケー選手権大会」
開催日程:12月28日～30日
開催場所:大井ホッケー競技場(メインピッチ・サブピッチ)(東京都)

(2)登録

競技大会への出場、または公認競技役員資格の取得のため、登録を実施した。
登録の実質的な手続きや登録料の徴収は、登録システムを通して実施しており、本協会は各都道府県協会所属のチーム・競技役員からの登録情報を集約してデータ化している。なお、本協会登録の登録に係る収入は、チーム・個人・競技役員別の金額を設定している。財源は、受取登録料(チーム・競技役員)および受取補助金等((独)日本スポーツ振興センター)に拠る

(3)競技規則の制定及びホッケー競技規則(ルールブック)の発行

本協会では、FIH が制定する競技規則をもとに、国内用の規則を制定している。これらの諸規則をまとめた「ホッケー競技規則(ルールブック)」を国際に合わせて発行した。
財源は、受取登録料(チーム、競技役員)に拠る。
実績:データをホームページに掲載

(4)施設・用器具の検定及び公認

本協会は、競技に参加するチームの実力を公平に反映させる為、参加選手が持っている技量を十分に発揮でき、その優劣を公平に反映させる為、常に快適なプレイ条件を整え、選手の危険を抑える為、また国際ホッケー界の趨勢を反映させ、安全で高水準のホッケー用具を普及、及び日本のホッケー競技力向上と競技の発展を図る為、ホッケー競技場の人工芝施設

や用器具を検定し、規定に定める要件を満たした施設及び用器具を公認した。

財源は、公認料(用具製造販売事業者・人工芝製造・販売指定企業)に拠る。

(令和6年度実績)

《人工芝競技場公認》

・都農町ホッケー場(藤見公園東側多目的広場)(宮崎県)

《用具製造販売事業者》

・株式会社ジャンボ他4社

《人工芝製造・販売指定企業》

・MCCスポーツ株式会社他2社

(5) 審判員の資格付与

本協会が定める「公認競技役員規程」に則り、A級、B級、C級、D級審判員資格を付与している。また本協会は国際ホッケー連盟(FIH)やアジアホッケー連盟(AHF)の加盟団体として、適当なレベルに達した審判員を国際審判員に推薦している。

資格合格者数実績 A級:1名、B級:24名、C級:42名、D級:197名

(6) 競技役員(テクニカルオフィシャル)

本協会が定める「公認競技役員規程」に則り、T1～T4の資格を付与している。また国際ホッケー連盟(FIH)やアジアホッケー連盟(AHF)の加盟団体として、適当なレベルに達したオフィシャルを国際オフィシャルに推薦している。

資格合格者数実績 T1:1名、T2:8名、T3:0名、T4:138名

4. その他主な活動実績

(1) 広報誌の発行

本協会では、機関誌としてホッケーマガジン「HOCKEY・YEAR BOOK」を年刊発行し、登録会員や一般購読者に向けた情報提供、各種報告を提供している。

単価は1部2,200円で発行し、都道府県協会を始め、一般の方や学校及び図書館、実業団や企業(人工芝メーカーやテレビ局等)まで幅広く配布している。

さらに、ホッケー競技や本協会の事業をより広く周知するため、公式ホームページや動画サイト、英語サイトを開設し運営している。これによりファンを含めた全ての人に対して、ホッケー競技へのアクセスを容易にすることができる。

また、国際競技大会の代表選手発表や各種記者発表、各種リリースの配信等、メディアに向けた情報発信も適宜行っている。

財源は、広告収入(機関誌)、販売収入(機関誌)に拠る。

(令和6年度実績)

「HOCKEY・YEAR BOOK 2023(No. 161)」

2024年6月22日発刊(定価2,200円(税込・送料別))

(2)HPおよびYouTubeチャンネルの運用など

ホームページの運用においては、迅速なアップデートと常に正確で新しいホッケー情報発信の継続に努めた。全国大会や国際大会のLIVE配信の推進と持続可能な動画撮影体制の構築を進めつつ、SNSのコンテンツの充実を行った。また、例年制作している代表選手肖像を活用した卓上カレンダーを制作し、主に広報活動用として各スポンサー、メディア、各関係団体・部署、各都道府県協会事務局等に配布した。

(3)国際活動

アジアホッケー連盟(AHF)および国際ホッケー連盟(FIH)の定時総会(11月、オマーン)に参加するなど関係深化に努めた。なお、AHF、FIHには複数の日本人理事を輩出している。

令和6年度より新たな取組みとして、日中韓の連携を強化し、シニア男女代表チームの3ヶ国トーナメントを持ち回りで行うことが確認され、1月にサムライジャパンが中国広州に招待された。

また、新たに令和6年度より海外在住のホッケー関係者とのネットワーク構築と定期的な情報交換を開始し、各国のホッケー事情や、今後海外でプレーを希望する選手に対するサポートや課題などを共有した。

(4)法務・コンプライアンス

健全な協会運営と環境づくりに寄与し、対外的な信用を高め、協会やホッケーの価値向上に資するため、契約書類の確認・作成、訴訟対応、その他各部門からの法務案件について相談体制を整備し、法務リスクを発見・軽減、また法令等遵守を前提に実情に適応した協会内各種規程等を整備し、また、ホッケー協会内や関連団体へコンプライアンスの周知徹底を行う取り組みを推進した。

(5)アスリート委員会

アスリート目線でのホッケーの認知向上と普及、競技継続における課題の明確化、世代横断的にアスリートをサポートしニーズを集約した。具体的には、LGBTQやジェンダーギャップ、スポーツメンタル等各種研修の開催、ホッケークリニックの定期開催、AED・熱中症予防講習会、SNSを活用したパリ五輪出場選手団応援企画等を行った。